

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ウィズ・ユー浜野駅前		公表日		2025年 1月 17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	午前は児童発達支援、午後は放課後等デイサービスにし、サービスを分けている。	狭いと感じる時があるが、適切である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	職員が欠勤の場合は、非常勤職員で補えるよう努力している。	通常4~5人の配置をしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		バリアフリー化されている。パーテーション等で特性に応じた配慮がなされている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		児童発達の活動後1回・放課後デイサービス後1回清掃を行っています。また、子どもたちの使う玩具は定期的に消毒し、空間が狭くならないよう常に使うもの・使わないものの整理を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		静養室は、体調不良のお子様が無理に慣れるようにスペースを確保しています。また、気持ちが落ち着ける場所としても利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		月に一回の会議で、支援の目的を共有すると共に成果や改善点について意見交換をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			今回のアンケート集計後、実施していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月に一回の全体会議で、支援の目的を共有すると共に成果や改善点について意見交換をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		第三者評価は現時点では行っていないが、利用者様や保護者様からの意見や提案には柔軟に対応しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修は定期的に行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HUGを用いて、その日の支援内容を記録し公表しています。記録や個別支援計画を元に活動内容を立案しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し保護者、職員間で共有し児発管を中心に見直しを行っています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児発管を主に、関わる職員の意見を参考に打ち合わせや支援内容の共有をし、今後どうしていくか話し合いができています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書に沿って、子ども一人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるよう心がけています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントを取る際は、フォーマルなアセスメントシートを活用しています。日々の行動に関しては、HUGシステムのケア記録に記載し、確認ができるようにしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		計画書に沿って、子ども一人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるよう心がけています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		一週間分の活動を目的や狙いを職員間で話し合い、立案しています		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員がその日の天気・気温・子どもの体調を考慮し、立案しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		前半は、子ども一人ひとり必要な支援をし個別活動をしています。 後半は、集団で出来るプログラムを立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	打ち合わせや支援内容を共有し、今後どうしていくか話し合いができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	連絡ノートを用いて、振り返りや共有ができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		HUGや連絡ノートを使用し、その日の支援計画を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し保護者、職員間で共有し見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	児発管は主に相談事業所と連携し、情報共有を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	基本的には保護者を通じて連絡等調整を行っています。 必要な時には、直轄連絡をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者の了承を得て、必要であれば支援計画書を保育所にお渡しし連携が取れるよう情報を共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	主として、送迎時に子どもの様子などの情報交換をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	利用者様の特性に応じて、発達支援センター専門職の方と支援方法や日々のプログラムをチェックして貰い、適切に行えるようにアドバイスや助言を受ける機会を設けています。	今後、連携が取れるように積極的に研修を受けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		余暇時間は、近隣公園等で地域の方との交流があります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に保護者と対話をしたり、メール、電話にて情報交換など必要に応じて行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8		家族が参加できる研修の機会は現状なし。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にはもちろん、質問や疑問がある方へ丁寧にお答えしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		主に引き渡しの際やHUGシステムのメッセージ、電話連絡等でご意向を伺っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		電話で保護者と共有し、毎度サインを頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		メールや電話にて支援体制を設けており、送迎時にも相談対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		開催の予定なし。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情発生時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		活動、行事予定はHUG（保護者マイページ）にてお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報やデータはウイルスセキュリティや鍵付きの書庫で保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		子ども一人ひとりの特性を把握し、支援しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		ボランティアの受け入れをしています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4		職員間では周知できているが、保護者様への説明は出来ていないため今後検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的にプログラムを通して実施しています。（訓練・防災カルタ）	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時に、保護者様への確認をしています。職員間で周知できている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4		アレルギーは確認済みだが、医師の指示書までは発行してもらっていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画は、毎月実施できています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		プログラム内での活動の発信はできているが、前もってお知らせはできていないので今後検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例があった時は必ず作成し（ファイリング）職員間で周知を徹底しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止チェックリストは毎月実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束適正化検討委員会を開催し、身体拘束に関する議題について、検討している。 身体拘束の対応に該当する児童は支援計画に明記している。		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユ-浜野前駅		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		~ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		~ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を元に、子ども一人ひとりに療育が図れるよう職員間同士で見直しを行っている。	日々の活動の中で、前半は個別プログラム（一人ひとりに合ったプリントの提供・鉛筆の持ち方・就学準備）後半は、集団活動（ルールや順番）を提供している。	偏らずに、毎日職員と振り返りをし意見を合わせ活動を決めていく。
2	平日、休日と活動を変え季節や月行事に応じて活動している。	毎土曜日は“ウィズの日”として、平日に活動できないことに挑戦している。（多機能型、公共機関の体験、クッキング体験、買い物体験等）	職員の配置や、社用車を増やし参加できる人数を増やしていく
3	『ほうれんそう』（報告・連絡・相談）がしっかり出来ている	施設長、児発管、社員、パートと関係なく意見が飛び交う関係性が保てている。	施設長や児発管を中心に半年に一度面談を行い、継続していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数や配置数が少ないときがある。	体調不良者が出てしまうと送迎や安全面に問題がある時がある	職員の健康管理の徹底を声掛けを日々行っていく。また、職員数の増加も検討していく。
2	研修への参加不足。	市区町村で設けられている研修へ積極的に参加する	常に、発信を見逃さないように心掛ける。
3	父母の会や、地域交流が実施できていない。	保護者様へ面談や交流の場を設け、保護者様の意見を今後の課題としていく。	地域新聞やチラシ等の発信をしっかりと把握し、必要であれば参加をしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユー浜野駅前
------	------------

公表日 2025年 1月 17日

利用児童数 9 人 回収数 7 回収

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		7			交流は、見受けられない。	今後、検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			3	4	開催は、見受けられない。	今後、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5			2		HUG以外でも状況説明ができるよう保護者様との面談を検討していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			5		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		6			現状できていないため、検討中です。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4		3		周知や訓練に至っていないので、今後検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2		5		今後、プログラムの中で活動できるよう検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ウィズ・ユー浜野前駅		公表日		2025年 1月 17日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	4	職員が欠勤の場合は、非常勤職員で補えるよう努力している。	通常4～5人の配置をしております。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8		バリアフリー化されている。パーテーション等で特性に応じた配慮をしている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		児童発達の活動後1回・放課後デイサービス後1回清掃を行っています。また、子どもたちの使う玩具は定期的に消毒し、空間が狭くならないよう常に使うもの・使わないものの整理を行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8		静養室は、体調不良のお子様は横に慣れるようにスペースを確保しています。また、気持ちが落ち着ける場所としても利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		月に一回の会議で、支援の目的を共有すると共に成果や改善点について意見交換をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			今回のアンケート集計後、実施していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月に一回の会議で、支援の目的を共有すると共に成果や改善点について意見交換をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		今後実施できるように調節します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修は定期的に行っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		HUGを用いて、その日の支援内容を記録し公表しています。記録や個別支援計画を元に活動内容を立案しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し保護者、職員間で共有し児発言を中心に見直しを行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児発言を主に、関わる職員の意見を参考に打ち合わせや支援内容の共有をし、今後どうしていくか話し合いができています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画書に沿って、子ども一人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるよう心がけています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントを取る際は、フォーマルなアセスメントシートを活用しています。日々の行動に関しては、HUGシステムのケア記録に記載し、確認ができるようにしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		計画書に沿って、子ども一人ひとりに必要な支援を実施し、健全な育成を図れるよう心がけています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		一週間分の活動を目的や狙いを職員間で話し合い、立案しています		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員がその日の天気・気温・子どもの体調を考慮し、立案しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		前半は、子ども一人ひとり必要な支援を個別活動をしています。 後半は、集団で出来るプログラムを立案しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	打ち合わせや支援内容を共有し、今後どうしていくか話し合いができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	連絡ノートを用いて、振り返りや共有ができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		HUGや連絡ノートを使用し、その日の支援計画を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		最長6か月以内で、モニタリング時にアセスメントを実施し保護者、職員間で共有し見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		主に療育を中心に、自立支援・日常生活への支援・創作活動・余暇提供は毎日の活動で取り組んでいます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		日々の活動の中で、自己選択ができるように子どもたちと常に話し合いの場を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3	児発管が主に相談事業所と連携し、情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	基本的には保護者を通じて連絡等調整を行っています。 必要な時には、直接連絡をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		基本的には保護者を通じて連絡等調整を行っています。 必要な時には、直接連絡をとっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		主として、お迎えの際に情報共有をとっています。 必要であれば、電話で情報を共有する機会もあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		在籍なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		今後、連携が取れるように積極的に研修を受けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		余暇時間は、近隣公園等で地域の方との交流があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		現状、参加できていません。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に保護者と対話したり、メールや電話にて情報交換など必要に応じて行っています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8		家族が参加できる研修の機会は現状なし	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にはもちろん、質問や疑問がある方へ丁寧に答えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		主に引き渡しの際やHUGシステムのメッセージ、電話連絡等でご意見をお伺っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		電話で保護者と共有し、毎度サインを頂いています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		メールや電話にて支援体制を設けており、送迎時にも相談対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		開催の予定なし。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情発生時には、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		活動、行事予定はHUG（保護者マイページ）にてお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報やデータはウイルスセキュリティや鍵付きの書庫で保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		子ども一人ひとりの環境を把握し、支援しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		実施できていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4		職員間では周知できているが、保護者様への説明は出来ていないため今後検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的にプログラムを通して実施しています。（訓練・防災カルタ）	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に、保護者様への確認をしています。職員間でも周知できています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4		アレルギーは確認済みだが、医師の指示所までは発行してもらっていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画は、毎月実施できています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		プログラム内での活動の発信はできているが、前もってお知らせは出来ていないので今後検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事例があったときは必ず作成し（ファイリング）職員間で周知を徹底しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止チェックリストは毎月実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体拘束適正化検討委員会を開催し、身体拘束に関する話題について検討しています。身体拘束の対応に該当する児童は支援計画に明記しています。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ウィズ・ユース・浜野前駅
------	--------------

公表日 2025年1月17日

利用児童数

16人

回収数

9 回収

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2	1	6	交流は、見受けられない。	今後、検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	2	5	開催は、見受けられない。	今後、検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			5	4		現状出来ていないため、検討中です。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユニー浜野前駅		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 20日		2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を元に、子ども一人ひとりに療育が図れるよう職員間同士で見直しを行っている。	日々の活動の中で、前半は個別プログラム（一人ひとりに合ったプリントの提供・鉛筆の持ち方・就学準備）後半は、集団活動（ルールや順番）を提供している。	偏らずに、毎日職員と振り返りをし意見を合わせ活動を決めていく。
2	平日、休日と活動を変え季節や月行事に応じて活動している。	毎土曜日は“ウィズの日”として、平日に活動できないことに挑戦している。（多機能型、公共機関の体験、クッキング体験、買い物体験等）	職員の配置や、社用車を増やし参加できる人数を増やしていく
3	『ほうれんそう』（報告・連絡・相談）がしっかり出来ている	施設長、児発管、社員、パートと関係なく意見が飛び交う関係性が保てている。	施設長や児発管を中心に半年に一度面談を行い、継続していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数や配置数が少ないときがある。	体調不良者が出てしまうと送迎や安全面に問題がある時がある	職員の健康管理の徹底を声掛けを日々行っていく。また、職員数の増加も検討していく。
2	研修への参加不足。	市区町村で設けられている研修へ積極的に参加する	常に、発信を見逃さないように心掛ける。
3	父母の会や、地域交流が実施できていない。	保護者様へ面談や交流の場を設け、保護者様の意見を今後の課題としていく。	地域新聞やチラシ等の発信をしっかりと把握し、必要であれば参加をしていく。